

令和元年度 入試広報課 重点目標（中間報告）

入試広報課の役割

入試広報課では、主にホームページ（HP）とホワイトボード（1学年職員室掲示板）、戦績掲示板（太田門横、入試センター）の3つの手段で情報を発信している。伝える内容は、教育内容（施策や方針）から学校行事やクラブ活動、それぞれのハウスの動向など木更津総合高等学校の業務全般にかかわることである。これらの情報を正確に分かりやすく伝えることが、入試広報課の基本的な役割である。

入試広報課の重点目標：『つながりを深める媒体となる』

木更津総合高校の情報を得たいと考えている外部の方々には、我が校の特色ある教育内容（幅広い進路に対応するコース制や手厚い進路指導など）、充実した学園生活（特色のある行事や活発な部活動など）等、我が校の長所や魅力を十分アピールしていきたい。

在校生に対しては、自分が在籍する学校への愛着を感じ、木更津総合高校の生徒として誇りを持ち、愛校心を育む内容となるよう掲載記事の編集に努める。また規模の大きな学校であるがゆえに、自分とかわりの浅い活動や他ハウスの事情に疎くなりがちである。その情報のギャップを埋める一助となるよう幅の広い情報の収集に努める。

保護者に対しても、学校への理解を深めていただけるよう、校内の出来事や学校行事等の情報を発信していきたい。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	学校行事の様子、部活動の活躍、ホームステイなど、可能な限りHP上に記事を掲載した。	年度開始から8月まで、偏りはあるが、月平均10本を超える記事を掲載した。

入試広報課の方針

上記の役割を十分に果たしその目標を具体化するため以下の項目に重点を置き、今年度の業務に取り組む。

① 正確な情報収集と迅速な発信

掲載記事を生き生きとした内容にするためには、常に最新の情報を集め迅速な更新が求められる。拙速なものにならないよう情報を精査し、齟齬や誤謬ない編集を心がける。また、個人情報の管理にも十分配慮する。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	「レスポンスブルデザイン」へ変更後、HP上への記事の掲載や掲載後の変更・訂正が即座に行えるようになった。	令和への改元の際には、掲載文章を迅速に差し替えることができた。

② 入試広報課内の連携と役割分担の徹底

業務内容を確認し各担当者の役割分担を決め、協力し合える体制を作る。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	記事の作成・戦績掲示等、一部に負担が偏らないよう、役割分担が上手く機能している。	特に文章の校正については、全員で確認し、極力不備を廃している。

③ 各ハウス、各部署、生徒会及び部活動顧問との密な連絡

HP上の様々な情報、部活動紹介やなど、多方面の教職員各位から協力を得られなければ、成り立たないものばかりである。連絡を密に取り、協力を要請する。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
2	様々な業務を抱え多忙な中でも、情報や写真の提供など、快く協力に応じてもらっている。	戦績の発表が遅れたり、発表の機会を逸してしまうことがあった。